

## SPring-8 運転・利用状況

公益財団法人高輝度光科学研究センター  
研究調整部

### ◎平成27年11～12月の運転・利用実績

SPring-8は11月16日から12月21日までセベラルバンチ運転で第7サイクルの運転を実施した。第7サイクルではILKモジュールのDC電源故障によるビームアボート等があったが、全体としては順調な運転であった。総放射光利用運転時間（ユーザータイム）内での故障等による停止時間（down time）は、第7サイクルは約0.4%であった。

放射光利用実績（いずれも暫定値）については、実施された共同利用研究の実験数は、第7サイクルは合計406件、利用研究者は1,893名で、専用施設利用研究の実験数は合計277件、利用研究者は1,172名であった。

#### 1. 装置運転関係

##### (1) 運転期間

第7サイクル（11/16(月)～12/21(月)）

##### (2) 運転時間の内訳

第7サイクル

運転時間総計 約839時間

①装置の調整およびマシンスタディ等 約71時間

②放射光利用運転時間 約764時間

③故障等による down time 約3時間

④フィリング変更時間 約1時間

総放射光利用運転時間(ユーザータイム = ② + ③ + ④)に対する down time の割合(\*1) 約0.4%

##### (3) 運転スペック等

第7サイクル（セベラルバンチ運転）

- ・ 203 bunches
- ・ 11 bunch train × 29
- ・ 11 bunch train × 29
- ・ 11/29-filling + 1 bunch
- ・ 203 bunches
- ・ 入射は電流値優先モード（2～3分毎（マルチバンチ時）もしくは20～40秒毎（セベラル

バンチ時)) の Top-Up モードで実施。

- ・ 蓄積電流 8 GeV、～100 mA

#### (4) 主な down time の原因

- ・ SR RF Ast サーキュレータアークによるアボート
- ・ ILKモジュールのDC電源故障によるアボート

### 2. 利用関係

#### (1) 放射光利用実験期間

第7サイクル（11/17(火)～12/20(日)）

#### (2) ビームライン利用状況

稼働ビームライン

共用ビームライン	26本
専用ビームライン	19本
理研ビームライン	9本
加速器診断ビームライン	2本

第7サイクル（暫定値）

共同利用研究実験数 406件

共同利用研究者数 1,893名

専用施設利用研究実験数 277件

専用施設利用研究者数 1,172名

### ◎平成28年1～3月の運転・利用実績

SPring-8は12月22日から平成28年3月31日まで冬期点検調整期間とし、加速器やビームラインに係わる機器の改造・点検作業、電気・冷却設備等の機器の点検作業を行った。

また、特高第一変電所関連設備の竣工後約20年を迎え、かなりの老朽化が進んできていることから、(I期) 工事として蓄積リング棟各ブロックのサブ変電所を更新している。

### ◎今後の予定

SPring-8は4月1日から4月28日までセベラルバ

ンチ運転で第1サイクルの運転を予定している。

4月29日から5月5日まで春の点検調整期間とし、加速器やビームラインに係わる機器の改造・点検作業、電気・冷却設備等の機器の点検作業を行う予定である。

第1サイクルの運転・利用実績については次号にて掲載する。

(\*1) down time の割合に④フィリング変更時間は含まない。